

2019年3月28日

Vol.122

運用
方針

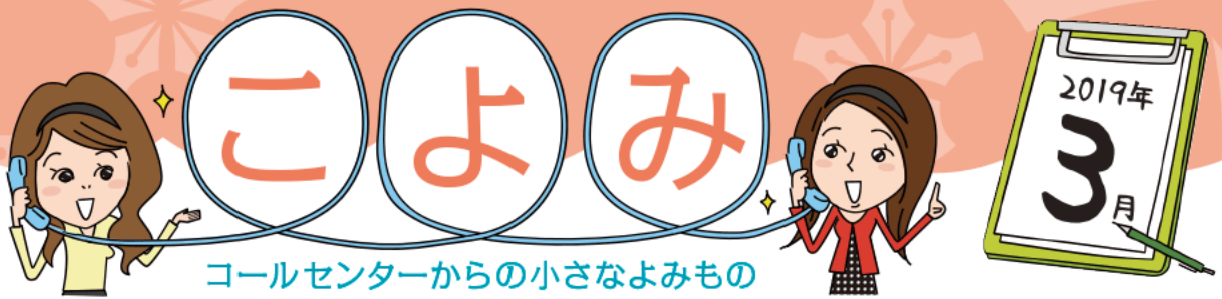
運用方針を再確認しよう

コールセンターでは様々なお問い合わせをいただきますが、特に損失状態が続いたときに「このまま保有すべきか悩む…」という声をよくお聞きします。

このように、保有し続けるべきか判断する際、確認していただきたいものにファンドの運用方針があります。

そこで今回は、ファンドの運用方針について、押さえていただければと思います。





ファンドによって運用方針は異なり、高い収益を狙うものもあれば、安定した値動きを目指すものなどさまざまです。投資信託説明書(交付目論見書)などには、そのファンドの目的や特色を記載しており、投資判断の材料のひとつになると思います。例えば、「主に日本の新興企業の株式に投資する」という運用方針のファンドの場合、新興企業の高い成長性を享受できる一方、相対的に大きな新興市場の価格変動の影響を受けることになります。

一方、バランス型ファンドのように投資対象資産が複数に分散されているものは、値動きを補い合う効果が期待できます。とはいえ、一口にバランス型ファンドといっても、ファンドによって投資対象資産や組入れている銘柄は異なるので、当然、値動きも異なります。よって、組入れている資産や配分比率などを事前に把握しておくことも大事です。仮に基準価額が大きく変動した際などは、投資資産や組入れ比率を把握しておけば、変動要因をつかむのに役に立つと思います。

保有されているファンドの運用方針を今一度確認し、投資対象の資産や銘柄に今後の値上がり期待が持てるのか、運用方針がご自身の投資に対する考え方にマッチしたものであるのか、という点なども含めて、投資判断をしていただければと思います。



nikko am



コールセンター

0120-25-1404

営業時間 平日 9:00~17:00